

脳神経外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	髄膜腫における免疫微小環境の解析
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）頭蓋底外科センター （職名）准教授 （氏名）伊藤英治
研究の対象となる方	2014年1月～2024年12月の期間に愛知医科大学病院において髄膜腫に対する手術を受けた20歳以上の患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年12月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 本研究では、髄膜腫における腫瘍微小環境を解析し、腫瘍の進展メカニズムを明らかにすることを目的としています。 ※腫瘍微小環境とは、腫瘍を取り囲む細胞や血管、免疫細胞などの構造や働きを指します。これらは腫瘍の成長や進行に大きな影響を与えると考えられています。本研究では、これらの要素を詳細に調べることで、腫瘍がどのように進行するのか、その仕組みを解明し、治療に役立てることを目指します。 〔利用方法〕 この研究では、患者さんの診療情報および手術時に摘出された試料（腫瘍組織）を利用します。以下に具体的な利用方法を示します。 1. 診療情報の利用 電子カルテに記録されている以下の情報を利用します。 ● 年齢、性別 ● 腫瘍の位置や画像診断の結果 ● 治療の種類や期間 ● 手術の方法および手術後の経過や合併症 これらの情報を用いて、腫瘍の特徴や治療の結果を解析します。 2. 試料の利用 手術時に摘出された腫瘍組織（病理組織標本）を研究に利用します。 この試料は通常の診療の一環として病院に保管されているもので、患者さんが特定されないように処理を施した上で使用します。 3. 情報と試料の関連付け 診療情報と試料を統合して解析を行います。具体的には、腫瘍組織内

	の免疫細胞の構成を解析し、それが患者さんの治療経過や予後にどのように関係するかを調べます。 4. 個人情報の保護 すべての情報や試料は個人が特定されないよう厳重に管理され、研究目的以外には一切使用されません。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：手術で摘出された腫瘍組織を使用します。 情報：電子カルテより、年齢、性別、腫瘍の局在、画像所見、治療方法、罹病期間、手術方法、術後合併症などの診療情報を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年11月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 頭蓋底外科センター 担当者：（職名）准教授 （氏名）伊藤英治 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22138）